

SSH 通信 NO.22

2021.6.28

☆第Ⅳ期 SSH 事業について

文部科学省は 2021 年度のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に関して新規採択に関する審査を実施し、基礎枠として高崎高校を含む全国 21 校が採択されました。高崎高校での SSH 事業は第Ⅳ期となり、指定期間は 5 年間となります。

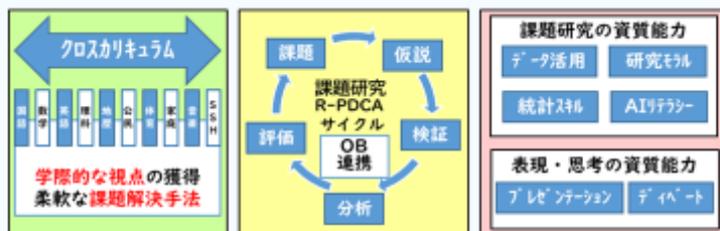
群馬県立高崎高等学校 第Ⅳ期 SSH 事業 全体概要

目的：Society5.0時代を牽引するリーダーとして、主体的に課題を発見し、学際的な視野を入れて科学的論理的に考え、協働して課題解決を図る人材を育成する。

Society5.0時代を牽引するリーダーとしての資質・能力（全生徒対象）

<h4>知の活用</h4> <p>幅広い科学的素養を用い、学際的な視点で課題を解決できる資質・能力</p>	<h4>知の深化</h4> <p>主体的に課題発見し、科学的に解決（探究）できる資質・能力</p>	<h4>知の交流</h4> <p>科学的・論理的に考え、探査・発表・議論できる資質・能力</p>
---	---	--

「知の活用」「知の深化」「知の交流」を育てる教育手段



「知の活用」「知の深化」「知の交流」を育てるSSHのカリキュラム

1 学 年	◎SSH生物基礎 [2]	◎サイエンス・プロジェクトⅠ [2] 課題研究の基礎を習得	◎サイエンス・コミュニケーションⅠ [1] 課題研究補助・表現を習得
2 学 年	《理型全員》 ◎SSH物理Ⅰ [3] ◎SSH化学Ⅰ [3] 《文型全員》 ◎SSH物理基礎 [2] ◎SSH化学基礎 [2]	◎サイエンス・プロジェクトⅡα [2] 社会課題及び 理数課題の発見・解決	◎サイエンス・コミュニケーションⅡ [1] データ活用技能・表現を習得
3 学 年	《理型全員》 ◎SSH化学Ⅱ [5] ◎SSH物理Ⅱ/生物 [5] 《文型全員》 ◎SSH生物必修 [2] ◎SSH化学/物理必修 [2]	◎サイエンス・プロジェクトⅢ [1] 研究テーマ別による振り返り	課外活動（1～3年） ○先端科学講座・研修 ○科学系コンテスト挑戦 ○科学系部活動振興 ○サイエンスキャンプ

全教科で
クロスカリキュラム実践

SSHコースに限らず
希望者は随時参加可能！

◎コース内全員履修科目 ○コース内選択者履修科目 [単位数] 全ての生徒を対象の科目

※スーパーサイエンスハイスクール（SSH）とは

高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。

☆(2学年)SSH 高大連携講座について

第2学年ではS・PⅡβ(A週水曜4限)に社会課題をテーマとした課題研究を実施しています。1学期は「先輩、教えてください!」(県内OB企業訪問)を通じて、企業活動を通じた社会課題の発見・探究を行っています。事前準備として、訪問先の事業内容に関する調査に加えて企業を取り巻く社会課題について調査を行います。

5月17日(月)には、群馬大学附属病院先端医療開発センターの中村賢治研究員を講師として、社会課題探究講座を実施しました。地域が抱える社会課題の発見・分析方法を学び、データサイエンスの知見から課題研究における実践的統計手法について学びました。今後は企業活動を取り巻く社会課題についての調査した内容をポスターにまとめ、訪問当日にOBと議論を交わします。



☆(1学年)課題研究入門講座

第1学年はS・PⅠを通じて、課題研究の基礎を習得することを目標としています。1学期は『課題研究入門講座』と銘打ち、4月、5月は課題研究における「問いの立て方」の6つの型を知り、それぞれの問いを作ることを体験しました。

6月以降は「自然科学の見方・考え方」、「統計：データの扱い方」、「社会科学の見方・考え方」を学び、夏休みに実施する個人研究につなげていくことになります。

今年度「自然科学の見方・考え方」では「バネの作成」を題材にして、変数の数値化、対照実験等の科学的探究の過程を学びます。授業では、班ごとに分かれ、班員が意見を出し合いながらバネを作成し、強度の計測を試行錯誤を繰り返しながら行っていました。

